

新しい“学びの姿”とは ～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて～ 熊本県立玉名高等学校・玉名高等学校附属中学校

玉名高校全日制及び玉名高校附属中学校では、毎年2学期に3週間「互観授業週間」と銘打って、職員がお互いの授業を見せ合い、意見交換を行って授業改善に努める取組を実施しています。また、玉名高校定時制では、「公開授業」として10日間、校内の職員だけでなく外部の方にも案内を出し、授業を公開しています。多くの人たちに授業を見ていただけるチャンスとあって、この時期には、それぞれの職員がいつにも増して、創意工夫を凝らした授業を行っています。

特に、本年度は、ICT機器を活用したり、グループワーク・ペアワークを取り入れるなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組が多く見られました。

附属中1年 理科、 3年 数学



理科では、問題に答えられた人から早く座れる競争をしていました。みんな夢中です。 →

←数学では、班ごとに問題を解く取組を行っています。お互いに教え合うことで理解も深まります。



高校(全日制)1年 英語

単語や英文を写真や図などで表すことにより、生徒がイメージしやすいよう工夫しています。↓



↑ペアで英文を読みあい、チェックしています。お互いに真剣です。

高校(全日制)2年 地理

教師から示された写真のスライドと問いに対し、生徒は根拠に基づいて自分の考えを述べていました。どの班でも、白熱した議論が展開されていました。



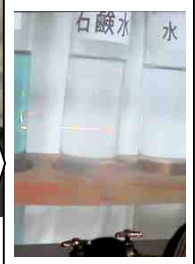
高校(全日制)2年 化学

教師による演示実験では、実験の様子がすべての生徒に見えるように、投影機でスクリーンに映し出します。



投影機

スクリーンの映像



生徒の実験台に設置されたパソコンには生徒実験の手順のスライドがあり、生徒はそれを参考に実験を進めていきます。今後、スライドを動画に改良する予定です。



高校(定時制)1年 現代社会

「防衛機制」という少し難しい内容でしたが、分かりやすいスライドのおかげで、生徒もしっかりと教師の質問に答えられていました。



本校は、県内で唯一、同じ校舎内に高校全日制・定時制そして中学校があります。そのため、お互いの授業を、全日制・定時制・中学校の枠を超えて参観し合い、良いところはどんどん取り入れて改善に努めているところです。

玉名高校・玉名高校附属中学校の授業は、今、大きく変わろうとしています。